

「釧路湿原自然再生協議会」

## 第9回 再生普及小委員会

資 料

平成 19 年 5 月 17 日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

# ワンダグリンダ・プロジェクト 2006 報告書 作成概要 (案)

は事務局からの提案です。

## 1 報告書作成のねらい

釧路湿原自然再生普及行動計画(以下、「再生普及行動計画」と略)の2006年度具体的取組みの状況を記録する。

再生普及行動計画の活動状況を、圏域内外に広く発信し、釧路湿原の保全・再生に向けた多様な活動や参加の機会を多くの人に知ってもらう。

新たな取組みを呼びかけ、誘発していくための材料とする。

## 2 作成方針

再生普及行動計画や具体的取組みが何であるのか分かりやすく説明する。

具体的取組みの実施者作成の報告書を基本とし、個々の取組みを統一した書式で編集する。

関係者のみならず、さまざまな立場の人に手にとっていただけるよう、デザイン・装丁等に配慮する。

印刷物としての配布だけでなく、再生普及行動計画WG通信等のウェブサイトでも公開する。

## 3 仕様

装丁 / A4判、カラー表紙、本文モノクロ印刷、約80ページ

印刷部数 / 1000部

発行者 / 釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

発行日 / 2007年 6月中旬

## 4 配布先

釧路湿原自然再生協議会構成員・事務局機関 123 団体・個人

公共施設、機関 74 ヶ所

釧路管内教育機関(小・中・高・大・専・養護) 約110 校

WG事務局より、随時配布・提供

希望者は、切手つき返信用封筒を事務局宛に郵送 無料で提供

釧路市市民活動センターわっとにて、希望者に配布

ホームページ「再生普及行動計画ワーキンググループ通信」で閲覧可能とする

## 5 構成

(次頁参照)

## 2006年度具体的取組み（ワンダグリンド・プロジェクト2006）

### 報告書構成～目次～（案）

#### はじめに

発行者代表（再生普及小委員会委員長）名で挨拶文を記載

#### 1 ワンダグリンド・プロジェクトとは

再生普及行動計画作成の趣旨、経緯、進行管理の仕組み等の概略を記述  
再生普及行動計画の10項目概要をパンフレット記載レベルで記述

#### 2 2006年度具体的取組み（ワンダグリンド・プロジェクト2006）の経緯

募集～とりまとめの経緯を記述

#### 3 2006年度具体的取組み（ワンダグリンド・プロジェクト2006）取組み一覧

再生普及行動計画の10分類別一覧表を掲載

#### 4 2006年度具体的取組み（ワンダグリンド・プロジェクト2006）の報告

（提案） 索引として、団体とそのページナンバーを掲載  
実施者50音順で、報告のあった約60件の取組みを記載  
各実施者作成の報告を、統一した書式（編集イメージ案参照）により編集  
各団体の連絡先は個票には記載せず、問い合わせ先として事務局を冒頭に記載

#### 参 考

釧路湿原自然再生協議会の構成と

再生普及小委員会名簿、再生普及行動計画WG名簿を記載

## 2007年度具体的取組み (ワンダグリンダ・プロジェクト2007)

### 応募取組み一覧(案)

2007.5

応募結果 : 35団体・個人/61取組み +協議会12取組み

新規団体・個人 : 13団体・個人/21取組み  
新規の団体・個人に がついています

## ワンダグリダ・プロジェクト2007 応募一覧(案)

氏名・団体名	取組み概要	実施(予定) 時期	No	取組みのねらい											
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
阿寒国際ツルセンター ★	親子学習会を開催し、タンチョウや湿原保全の重要性を伝えます	通年(年3回程度)	1	○	○										
	自然や野生生物について話し合う会合を開きます(ツルセンター茶話会)	毎月1回(第3土曜日予定)	2	○	○										
岩間 喜美子 ★	湿原周辺住民対象に、湿原の美しさを紹介する自然解説を実施します	年2回(5月下旬、8月下旬)	3	○	○			○		○					
ウッディホテル レストラン 夢工房	様々なイベントを通して幅広く皆様に湿原のよさと保護について知識と理解を深めてもらう	未定	4										○	○	
NPO法人釧路湿原やちの会 ★	釧路湿原道路の清掃活動を実施します	4月22日(日)	5	○				○	○		○				
	温根内ビジターセンター駐車場の清掃活動を行います	5~10月	6	○	○	○									
	釧路湿原ウォーキング大会を実施します	9月	7					○		○	○				
	修学旅行・一般観光客(団体・個人)・企業の研修旅行等を受入れます	随時	8		○	○				○					
NPO法人トラストサルン 釧路	トラスト地におけるボランティア作業の受入れを行います	随時	9					○		○					
NPO法人北海道フィッシャーズ協会 ★	魚釣りを通して様々な方をガイドし、生息する動植物を見てもらう環境保護、環境保全の重要性を伝える活動を行います	5~11月(不定期)	10	○		○			○		○			○	
	カヌー事業者やそこに関わる人たちと協力して、カヌーによる清掃活動を実施します	年2回(5~6月、9~10月)	11	○		○			○		○			○	
(株) FMくしろ	ラジオ番組「ゆうゆう釧路湿原塾」を毎週放送します	毎週月曜13:45~	12	○											
お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を販売します	随時	13	○											
環境コンサルタント株式会社	湿原に関する、体験型学習会を行います	2回程度(6~10月)	14	○		○				○					
	カヌーで達古武湖の清掃を行います	6月、9月	15	○		○				○					
環境省釧路自然環境事務所	各施設で自然再生事業を紹介する展示を行います	随時	16	○		○	○			○					
	達古部地域にて、市民体験調査会を行います	年2回	17	○		○		○		○					
協同組合日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーマンズカード」を発行し、利用額の一部を寄付します	随時	18					○	○						



釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原国立公園に係わる普及啓発事業を行います		37	○	○	○		○		○	○		○
	通信誌による情報発信を行います	毎月1回	38	○	○	○		○		○	○		○
	温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで自然観察会を実施します		39	○	○	○		○		○	○		○
釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会 ★	釧路湿原全国車いす大会を開催します	8月26日（日）	40										○
釧路シャケの会 ★	サケの稚魚里親募集と、稚魚の放流(放流式)を行います	1月（里親募集開始）5月5日（放流式）	41	○	○								
釧路新聞社・釧路町観光協会	釧路湿原コンサートを開催します	年3～4回	42	○									
釧路ポタニカルアートの会 ★	地元の植物やその周辺の環境を観察し学び、希少な植物の姿を細密画として描き、作品を環境保護活動に役立てます	通年（毎週2回）	43	○		○		○	○	○	○		○
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	釧路湿原川レンジャー活動を実施します	観察活動（通年）、学習活動（年4回程度）	44	○		○		○	○	○			○
	「くしろ環境スクール」修了生による活動を行います	未定	45	○		○		○	○	○		○	○
財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	施設入居者へのタンチョウの解説・ミニスライドショーを実施します	10～3月	46		○					○	○	○	
	タンチョウティーチャーズガイド講習会を実施します	未定	47		○					○			
	自然保護を目的とする学生組織「F・Aネットワーク」のワークキャンプを受入れます	年2回（夏・冬）	48					○			○		
笹本 由文	鶴居村の私有地に、広葉樹を植樹し、緑溢れる広葉樹林を再生します	5～9月	49	○				○					
シルバーシティときわ台ヒルズ ★	施設入居者が自然再生について学ぶ「自然再生」文化講座の開設	年3回（11、1、3月）	50	○	○					○			○
	海外の老人ホームとの相互交流を通じて、自然・動植物の生態を学び、国際親善に寄与する	随時	51	○	○					○			○
太平洋総合コンサルタント株式会社	現地体験型の環境教育の実施（河川の水質や生物について生徒各自が現地で体験しながら学ぶ）	10月～11月	52	○				○	○	○			○
法政大学経済学部 西澤ゼミナール	ゼミにおいて、釧路湿原自然再生事業について経済学的な見地から調査・研究し、政策提言を行います	8月現地調査予定	53			○	○	○	○				

ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	「じゅう箱のスミ」を媒体に、湿原再生の取り組みやそこに関わる人々の姿をわかりやすく楽しく市民に発信します	年4回発行	54	○																○
	釧路湿原“音”探検を開催します	年1回（未定）	55	○					○		○									
山崎山林森林セラピー推進会★	釧路湿原国立公園内の山崎山林をステージに、さまざまなテーマを企画しツアーを開催します。	毎月第4土曜日（通年）	56	○	○						○	○								○
リンク・リング★	野生生物へのエサやりの是非の説明を通して、人と動物・自然のかかわりについて考える機会をもってもらいます	随時	57	○	○				○	○	○									
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター	自然再生予定地である雷別地区において、自然再生学習会を実施します	年2回（6月、10月）	58	○			○	○	○	○	○									○
	自然再生予定地である雷別地区において、植栽するための広葉樹の苗木育成を行います	10月（種まき予定）	59	○			○	○	○	○	○									○

39 18 18 4 27 12 29 15 6 22

### 協力

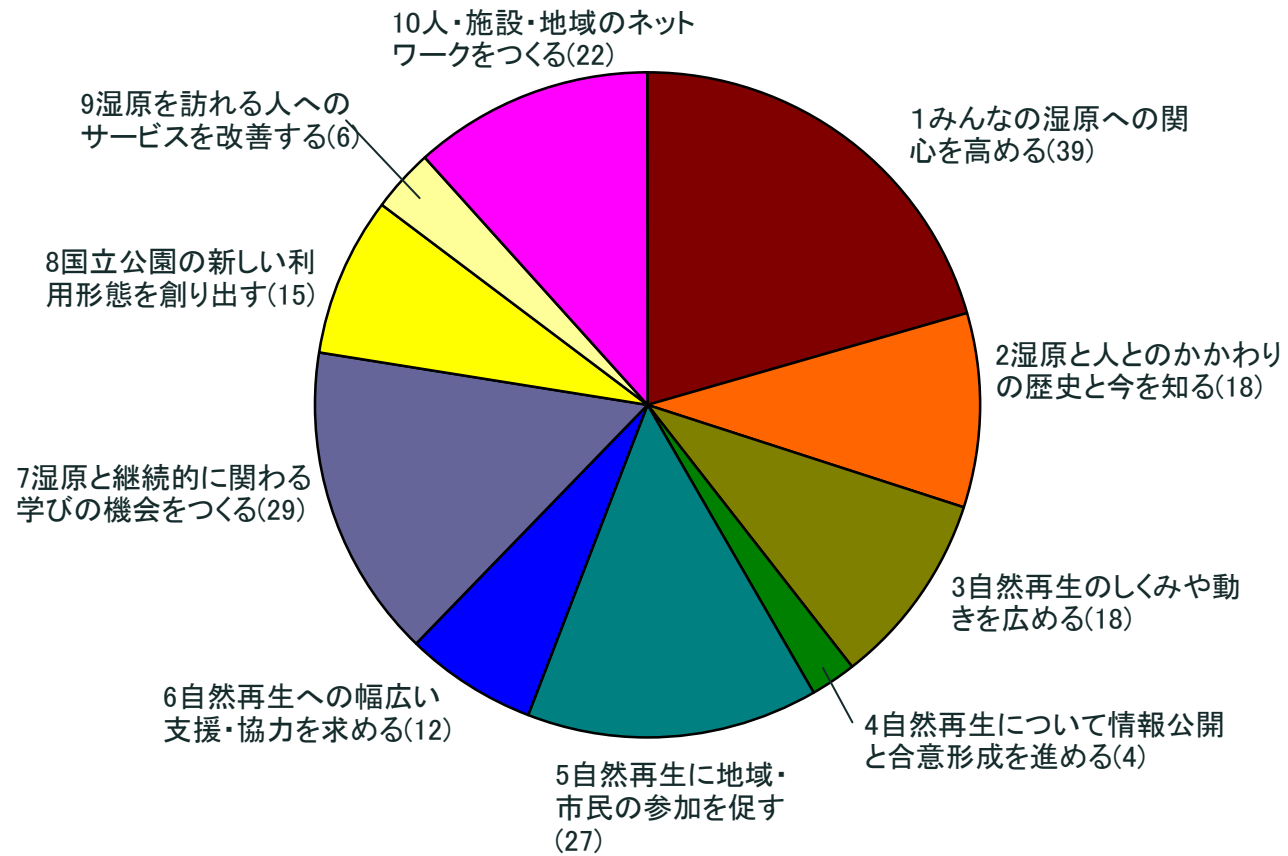
喜多島 麻鈴	コンサート活動を通じ地元の湿原のすばらしさ、道東の良さをPRします。	随時	60
細岡ビジターズラウンジ	情報誌等の配布・閲覧の協力	随時	61

計 35団体(個人)

61 取組み



各取り組みテーマごとの現状



## 協議会

釧路湿原自然再生協議会	意見交換会等を実施します	随時
	各種イベント時において自然再生を紹介します	随時
	各種情報誌での掲載を行います	随時
	釧路湿原ガイドブックの販売を進めます	随時
	自然再生協議会ホームページにて、協議会関連情報を発信します	随時
	自然再生に関わる印刷物の作成・発行をし、配布します	随時
	自然再生に関わる講演会等を実施します	随時
	自然再生に関わる視察・研修等の受け入れ・協力を行います	随時
	自然再生に関わるパネル展など企画・実施します	随時
	地元新聞社への情報掲載依頼等を行います	随時
	ホームページ「普及行動計画ワーキンググループ通信」にて、湿原に関する話題等を提供します	随時
	自然再生協議会への協賛や寄付金を募ります	随時

## 今後のスケジュール（案）

2007年5月17日	再生普及小委員会 開催 「ワンダグリンド・プロジェクト 2006」報告書について 「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」の取組みについて
6月中旬	<p style="text-align: center;"><b>「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」公開</b></p> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2006」報告書の作成・配布 ワンダグリンド・プロジェクト 2007 報告書お披露目座談会開催</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>WG事務局としての取組みの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知名度調査アンケートの実施</li> <li>・「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」進捗状況の把握</li> <li>・保全・再生を意識していない取組みの把握</li> <li>・実施内容の把握（取材・写真）</li> <li>・実施者の報告書の回収</li> </ul> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」実施状況とりまとめ</p> </div>
11月～12月ごろ	<p>第12回再生普及行動計画WG 開催 「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」中間報告と 次年度募集方法についての検討</p> <p>再生普及小委員会 開催 「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」中間報告と 次年度募集方法の承認</p>
2008年 2月下旬～3月下旬	<p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2008」募集 「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」実施状況とりまとめ</p>

ワンダグリンド・プロジェクトは、再生普及行動計画具体的取組みの愛称です。

## 環境教育ワーキンググループの設立について（案）

## 1 経 過

- (1) 第8回再生普及小委員会（平成19年3月8日開催）において、釧路湿原環境教育ワーキンググループの方向性等について、次のとおり意見交換が行われた。
- ア 釧路湿原環境教育ワーキンググループは、ガイドブック及び人材バンク・プログラムリストの作成をもって、当初の目的を達成した。
- イ 今後の環境教育の進め方については、その体制を含めて再生普及行動計画ワーキンググループ（以下、「行動計画WG」）で検討する。
- (2) これを受けて、第11回行動計画WG（平成19年4月23日開催）では、今後の環境教育に係る取組みの方向性等について意見交換が行われ、再生普及小委員会の下に新たに「環境教育ワーキンググループ（仮称）（以下、環境教育WG）」を設置することで意見がまとめられ、再生普及小委員会へ報告されることとなった。

## 2 環境教育WG（仮称）の方針

- (1) 現在、行動計画WGは、地域住民をはじめ協議会構成員に対し、環境教育の積極的な実施や参加、環境教育活動に関する情報提供、再生普及行動計画（ワンダグリンド・プロジェクト）への参加等と呼びかけ一層の推進に努めているが、ここでの取組みは、地域住民向けの普及啓発活動が中心であり、学校教育分野での取組みの拡充については、繰返し期待の声が寄せられている。
- (2) しかしながら、学校等に係る環境教育の現状や必要性等については、十分把握されておらず、新たな環境教育WGでは、学校等の受入れ側（需要）と環境教育を実施する側（供給）に係る必要な情報の収集と共有化に努めるとともに、環境教育の推進方策を検討する。
- 当面の間は、学校教育に係る必要な情報の収集と共有化等を進めることとし、その成果を踏まえて社会教育等への展開を検討する。

## 3 実施体制

- (1) 名 称：環境教育WG
- (2) 目 的：釧路湿原周辺の学校教育や社会教育に係る必要な情報の収集と共有化に努めるとともに、環境教育の推進方策を検討する。
- (3) 構 成 員：再生普及小委員会委員（希望者）、学校教育関係者、学校教育行政機関、関係行政機関 等
- (4) 事 務 局：環境省 釧路自然環境事務所

#### 4 調査の実施

学校等における湿原をテーマとした環境教育については、実施状況や意向、必要条件等が明らかではなく、その推進に当たっては、現状や課題等の基礎的情報の把握が必要である。そこで、釧路湿原周辺の学校に対して、これらに関するアンケート調査及び聞き取り調査等を実施するとともに、実施機関等での取組状況についても把握し、それぞれの情報について方向性や到達目標を検討する。

なお、調査結果については、自然再生協議会構成員をはじめとして、環境教育WG及び再生普及小委員会等で共有することに加え、学校関係機関や環境教育実施者等へ情報提供を行う。

- ( 1 ) 調査対象：釧路湿原周辺の小・中・高等学校、実施機関・団体 等
- ( 2 ) 調査内容：湿原をテーマとした教育活動の実施状況  
湿原をテーマとした環境教育の実施意向、必要条件、支援要望  
モデル的な授業実施やプログラム作りへの協力意向 等  
詳細については、環境教育WGで検討
- ( 3 ) 調査実施者：環境教育WG

#### 5 今後のスケジュール

- 平成19年6～7月：
  - ・第1回 環境教育WG開催
  - ・活動方針の検討、共有
  - ・調査についての検討
- 夏～秋頃：
  - ・調査実施
- 11～12月：
  - ・第2回 環境教育WG開催
  - ・調査結果の分析と情報の共有
  - ・調査結果を受けた次年度の活動方針の検討
- 12月以降：
  - ・再生普及小委員会へ報告